

■創刊号 (2008年9月30日)

創刊のことば 吉川左紀子
『こころの未来』創刊を祝って 尾池和夫
対談 総長カレールとiPS細胞 尾池和夫+
吉川左紀子
こころの未来研究センターの設立経緯と概要
吉川左紀子
研究プロジェクト一覧
研究プロジェクト 能動的注意に関わる脳内神経メカニズムの解明
船橋新太郎
研究プロジェクト 癌患者支援プロジェクト カール・ベッカー
研究プロジェクト 京都における癒しの伝統とリソース 河合俊雄
研究プロジェクト 青年期の社会的適応と文化 内田由紀子
岡本道雄先生インタビュー 戦争とこころ 岡本道雄+吉川左紀子+
内田由紀子
論考 認知科学からこころの発達を探る 十一元三
論考 脳機能画像とこころ 福山秀直
座談会 こころと日本文化 山折哲雄+吉川左紀子+カール・ベッ
カー+鎌田東二
論考 世阿弥における「無心」の厚み 西平直
論考 自己矛盾のメンタリティー 北山忍
こころの未来セミナー報告 こころと「神秘世界」 鎌田東二
センターの動向 (2007.4~2008.9)
スタッフ紹介



■第2号 (2009年3月31日)

創刊のことば 吉川左紀子
巻頭言 「情報」のこころ 五木寛之
対談 こころの学問は「務本の学」 松本紘+
吉川左紀子
研究プロジェクト 発達障害の認知・感情特性
と療育的関わり 久保(川合) 南海子
研究プロジェクト 共感的対話の相互作用性
——カウンセリング対話から「対話のなぞ」に迫る 吉川左紀子
研究プロジェクト こころ観の思想的・比較文化論的基礎研究
鎌田東二



編集後記

設立から3年、いろいろな考え方の研究者が集まり議論しながら、「こころを知り未来を考える」新しい研究の形を探してきました。『こころの未来』第4号から、そんなセンターの雰囲気が伝わることを願っています。(吉川)

本第4号はセンターの3年間の活動の総括号となり、編集に力が入った。2007年に発足して3年、どのような理念と内容と実態を持って歩んできたか。その歩行の軌跡をまとめながら、これからの3年、5年、10年を考えていた。(鎌田)

司馬遼太郎の『坂の上の雲』で感銘を受けたことがある。兵站の重要性が繰り返し語られていることだ。本誌の発行含め、センターの活動もまた事務スタッフの力によって支えられている。感謝を申し上げたい。(平石)

編集作業が遅延したことを執筆者、関係者、読者の方にあらためてお詫び申し上げます。本号は既刊号より約30ページ増。星雲のような「こころ」の不思議さと、それをめぐる研究や論考の豊かさが伝われば幸いです。(原)

研究プロジェクト Webによるこころの研究ニュースの発信 平石界
論考 こころの進化と文明の発達 長谷川眞理子
論考 現代キーワードとしての「共生」 湯本貴和
論考 「依存症:溺れるこころ」を探る 松岡俊行
座談会 こころというブラック・ボックス 長尾真+吉川左紀子+船橋
新太郎
論考 ロシア文化におけるこころの概念——言語文化学的分析
S.E.・ヤーチン+S.Yu. マルコワ
2008年度 1年の記録
2008年度 仕事一覧

■第3号 (2009年9月30日)

創刊のことば 吉川左紀子
巻頭言 粗食と粗音 細野晴臣
インタビュー 精神的資源を育てる 井村裕夫+
吉川左紀子+平石界
研究プロジェクト紹介1 依存症に関する総合
的研究 船橋新太郎
研究プロジェクト紹介2 ソーシャル・ネットワーク
の機能——グループ内の「思いやり」の性質
内田由紀子
研究プロジェクト紹介3 〈モノ〉の表情・眼力の実証研究——実験に
至るまでの道のり 渡邊克巳
論考 文明と子どもの命/親の「愛」——歴史と文学に学ぶ心理学
柏木恵子
論考 詩と絵とこころ 松生歩
論考 2+1——こころを支える3つの時間軸 友永雅己
座談会 変化するこころ、変化しないこころ 木村敏+河合俊雄+鎌田
東二+畑中千紘
研究紹介 アフリカの森で考えるこころ観 大石高典
研究紹介 病気の子どもの日常を繋ぐ——院内学級と復学支援につ
いて スウェーデンの場合 近藤(有田) 恵
座談会 ネット時代のこころを探る 近藤淳也+内田由紀子+平石界+
森崎礼子
センターの動向 (2009.4~2009.9)
京都府との共同企画事業報告 鎌田東二+船橋新太郎



発行日…………… 2010年3月31日

発行…………… 京都大学こころの未来研究センター
〒606-8501
京都市左京区吉田下阿達町46
京都大学稲盛財団記念館内
電話 075-753-9670
FAX 075-753-9680
http://kokoro.kyoto-u.ac.jp/

編集委員…………… 吉川左紀子+鎌田東二+平石界

表紙写真…………… 大石高典 ムラサキケマン(京都大学理学部植物園)

編集・制作…………… 編集工房レイヴン 原 章

デザイン…………… 鷲草デザイン事務所 尾崎閑也

印刷…………… 株式会社NPC コーポレーション